

津久見市議会

議員定数説明会

議員定数等調査特別委員会

特別委員会の取り組み

「議員定数等調査特別委員会」（委員13名）は、平成27年6月に第1回の委員会を開催し、平成30年5月までの約3年間にわたり、今後の議員定数のあり方について協議を行ってきました。

協議を行うにあたり、過去の議員定数の協議を踏まえ、その論点は多岐にわたることから、まず論点の整理を行いました。

その後、その論点ごとに協議を行い、最終的にその協議の内容に基づいて、今後の議員定数について結論を出すこととしました。

論点整理、及びその後の協議を円滑に進めるにあたり、特別委員会内に「論点整理及び調査に関する小委員会」（委員5名）を設置しました。

小委員会は協議を重ねるとともに、由布市への視察、福岡市で開催された研修会への参加も実施し、特別委員会に対し2度にわたり報告書を提出しました（「議員定数等調査における論点整理及び調査について」、「津久見市議会の定数について」）。特別委員会では、その報告書の内容に基づき協議を行い、この度、この報告書をまとめるに至りました。

3

論 点

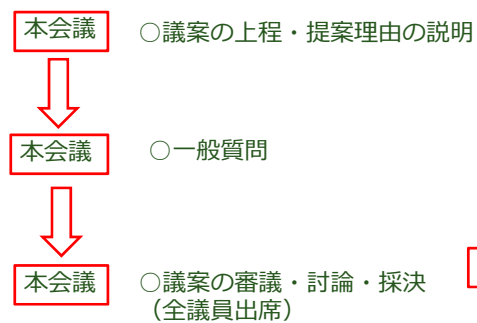
- ① 常任委員会数方式
- ② 人口比例方式
- ③ 自治区選出方式・小学校数方式
- ④ 議会費固定方式
- ⑤ 類似、近隣都市との比較
- ⑥ 面積・人口方式

4

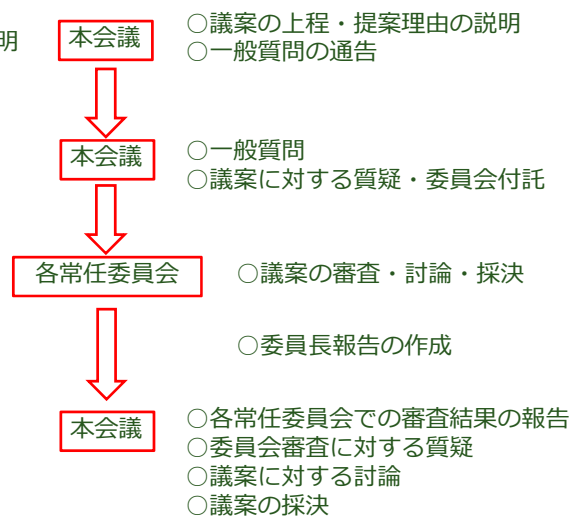
論点①常任委員会数方式

5

本会議中心主義 議案審議の流れ



委員会中心主義 議案審査・審議の流れ



6

- 議会の運営方式については、本会議中心主義、委員会中心主義それぞれ一長一短あるが、国、地方議会とも委員会中心主義がほとんどです。津久見市議会もこれまで委員会中心主義を導入していることから、本会議中心主義への変更は多方面で多大な影響を及ぼす。

7

委員会中心主義の場合、津久見市議会の常任委員会数は最低の2（予算常任委員会を除く）である。1常任委員会の委員数は津久見市議会の過去の経緯から**6人以上は必要**であり、専門家は**7～8人は必要**との考え方が多い。

また、議会基本条例の施行により、広報委員会、活性化委員会、政策研究会、さらに特に重要な案件については特別委員会等も設置され、本会議の会期中を問わず年間通しての活動を行っている。

8

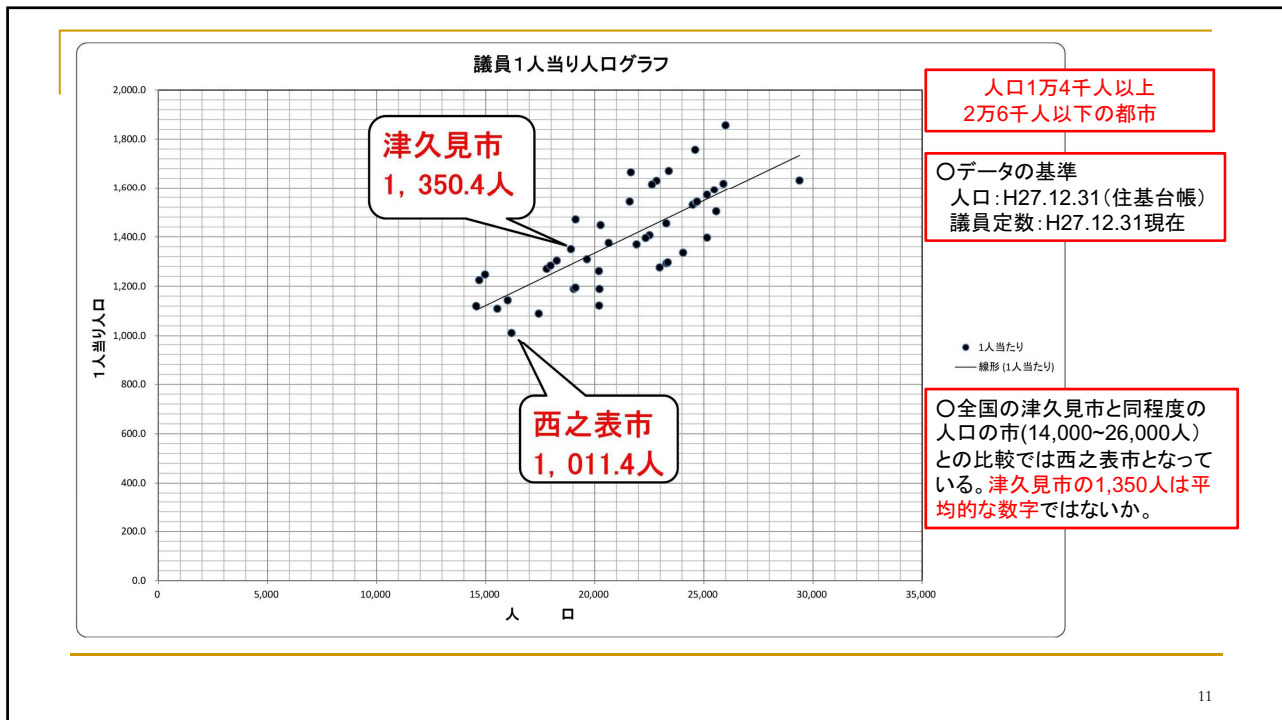
委員会設置の理由

- 本会議の全議員出席での審査では、質疑・討論の時間が長くなる。
- 会期中に多くの議案を審査するため→分担制
- 委員会で審査し、報告を受けて再度本会議で審議すれば正確な上、進行も早くなる。
- 本会議では、発言の制限（時間、回数等）があるが、委員会では長い時間をかけ、より細かく審査できる。

9

論点②人口比例方式

10



議員一人当たり人口=市の人口÷議員の数

- 大分県内の状況は、人口規模が違い県内では比較はしにくい人口の多い自治体ほど議員一人当たりの数値は高くなる。

市名	人口	議員定数	1人当たり人口	市名	人口	議員定数	1人当たり人口
大分市	479,557	44	10,899	竹田市	22,421	16	1,401
別府市	118,779	25	4,751	豊後高田市	22,970	18	1,276
中津市	84,608	26	3,254	杵築市	29,871	18	1,660
日田市	66,878	22	3,040	宇佐市	57,090	24	2,379
佐伯市	72,908	25	2,916	豊後大野市	36,824	18	2,046
臼杵市	39,367	18	2,187	由布市	34,762	20	1,738
津久見市	18,090	14	1,292	国東市	28,736	18	1,596

※人口：平成30年1月1日現在 ※議員定数：平成30年7月31日現在

※議員定数：次回選挙から、豊後高田市は16名、宇佐市は23名、中津市は24名となります。

12

津久見市の過去の市議会議員選挙

	定数 (人)	立候補 者数(人)	議員1人 当り(人)	投票率 (%)		定数 (人)	立候補 者数(人)	議員1人 当り(人)	投票率 (%)
昭和50年 (第7回)	24	29	1,371.2	92.38	平成11年 (第13回)	20	22	1,240.0	85.72
昭和54年 (第8回)	24	25	1,339.3	91.45	平成15年 (第14回)	18	19	1,301.7	83.08
昭和58年 (第9回)	24	25	1,283.6	89.96	平成19年 (第15回)	16	18	1,372.7	78.01
昭和62年 (第10回)	22	26	1,333.4	91.43	平成23年 (第16回)	14	17	1,472.9	77.00
平成3年 (第11回)	22	24	1,254.7	89.99	平成27年 (第17回)	14	14	1,368.7	無投票
平成7年 (第12回)	20	21	1,308.0	86.73					

13

○津久見市の議員一人あたり人口は、**1,350人 (H27.12)** で、
全国の人口が同等規模（1.4万～2.6万人）の自治体が
1,011～1,856人であることから見ても、平均的といえる
のではないかな。

また、津久見市の過去の議員一人あたり人口は、1,178
～1,669人、平成以降では1,240～1,473人であることか
ら見ても、平均的といえるのではないかな。

14

論点③自治区選出方式・小学校数方式

- 津久見市の行政区は31区、小学校は5校であり検討しづらい。

津久見市全体にまんべんなく、議員がいたほうが良いのではないか。

15

論点④議会費固定方式

**議員報酬の割合 = 議員報酬合計 ÷ 一般会計（歳出決算額）
（期末手当含む）**

- 財政、人口規模が大きい自治体は、割合が低くなる。
逆に、財政、人口規模が小さい自治体は、割合が高くなる。

大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市
0.31	0.40	0.38	0.36	0.48	0.45	0.60
竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市
0.53	0.57	0.47	0.45	0.43	0.51	0.40

平成27年度総務省調査

16

大分県内の議員報酬一覧表

単位：円／月

	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市
議 長	766,000	551,000	448,000	447,000	434,000	420,000	383,000
副議長	695,000	496,000	406,000	393,000	391,000	365,000	333,000
議 員	641,000	463,000	388,000	382,000	368,000	340,000	310,000

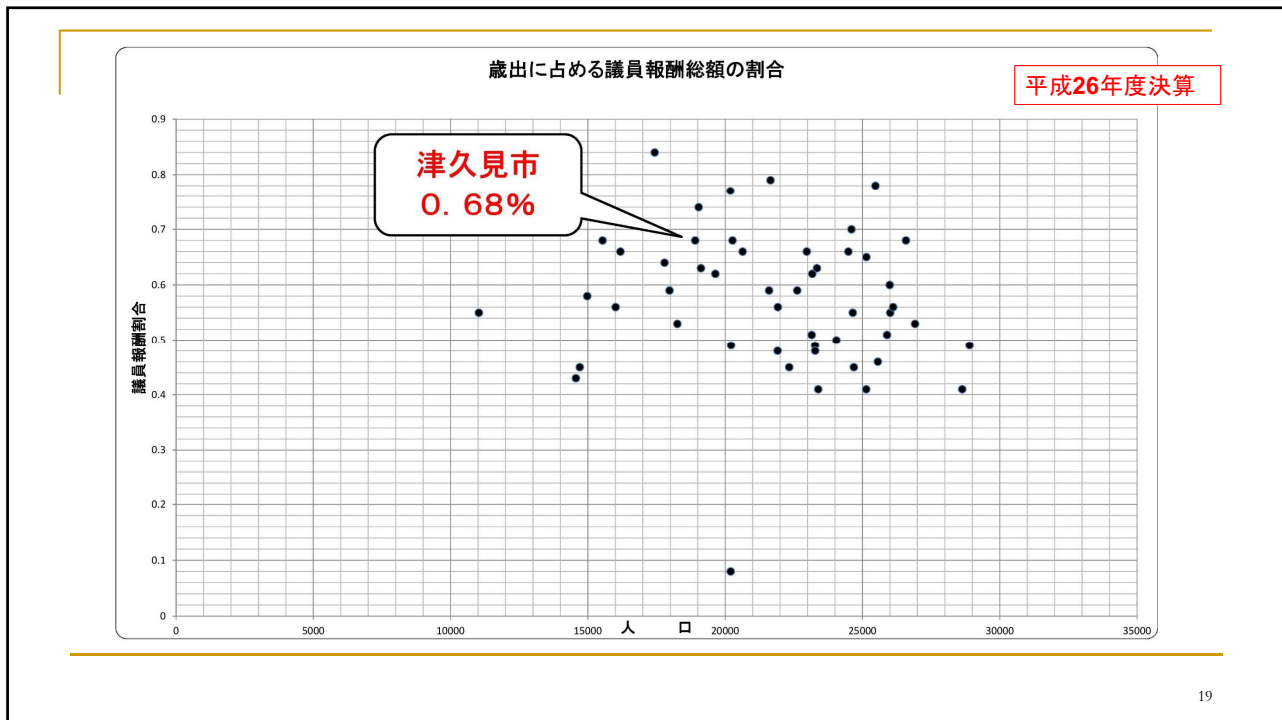
	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市
議 長	402,000	400,000	410,000	415,000	400,000	390,000	390,000
副議長	362,000	360,000	360,000	375,000	360,000	350,000	340,000
議 員	340,000	340,000	340,000	355,000	340,000	330,000	320,000

平成29年12月31日現在

17

- 津久見市の一般会計の歳出決算額（H26）に占める議員報酬（期末手当含む）の割合は**0.68%**で、全国の人口が同等規模（1.4万～2.6万人）の自治体が0.4～0.8%台であることから見ても、平均的といえるのではないかと。

18



論点⑤類似、近隣都市との比較

- 人口規模が類似の自治体については、論点②、④等を参照。

近隣の自治体については、人口規模等が異なるので比較しづらい。

論点⑥面積・人口方式

- 津久見市の面積79.48km²、人口18,906人（H27.12）を用いて計算すると、定数は16.84人となります。

計算式

$$\text{定数} = 14.78 + 0.0846 \times \text{人口（千人）} - 0.0000655 \times (\text{人口（千人）})^2 + 0.0061 \times \text{面積（km}^2\text{）}$$

※林関西大学教授（第30次地方制度調査会委員）の論文より

21

まとめ

- 論点①常任委員会数方式の議会の運営方式について、
 現行の委員会中心主義を今後も継続する上では、現在の
1常任委員会の委員数7人×常任委員会数2（議員定数14人）
は、考えられる必要最低限の数。
- 現在の議員定数14人は論点②人口比例方式,④議会費固定方式,
 ⑥面積・人口方式から見ても**平均的な数字**。
- 論点③自治区選出方式・小学校数方式,⑤類似、近隣都市との比較
 については比較・検討がしづらい。

22

以上のことから、本特別委員会の結論は「議員定数は
14人が適正である」とするものであります。

ただし、津久見市は今後も人口減少が予測されるため、
国や他自治体の議会運営のあり方についての動向に注視し、
市民の負託に応えられる議会のための議員定数等のあり方
について、今後とも議論していかなければならないのでは
ないかと考えています。

23

ご清聴ありがとうございました。

津久見市議会
議員定数等調査特別委員会

24